

2020年度全国地域実践「実践大賞」
出品表（教宣活動の部）

(1) 活動について

応募団体名	(ふりがな) くりやまちょうせいねんだんたいきょううかい 栗山町青年団体協議会				
活動名称	(ふりがな) けーすけーはーかーあんどめいしせいさく KSKバーカー＆名刺制作				
活動期間	2015年 9月 5日	～	2020年 4月 23日		
主な活動実施日					
進行状況	<input type="checkbox"/> 企画中 <input type="checkbox"/> 準備中 <input type="checkbox"/> 活動中 <input checked="" type="checkbox"/> すでに終了 <input type="checkbox"/> その他				
活動場所	総合福祉センターしゅるる(打合せ場所)、LINE(オンライン打合せ)				
関係者数	24人(作品完成時の会員数)	参加者数	7人(ユニフォーム制作グループ)		

(2) 作品について

応募部門	<input type="checkbox"/> 映像・放送 <input type="checkbox"/> ウェブサイト <input type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> グッズ <input checked="" type="checkbox"/> ユニフォーム			
作品名	(ふりがな) けーすけーはーかーあんどめいしせいさく KSKバーカー＆名刺制作			
制作人数	1人(実質制作者)			制作数
制作費	バーカー88,820円 / 名刺14,660円			バーカー10着 / 名刺9セット
作品の写真				
作品のねらい ・ 活用方法	<p>平成27(2015)年度、栗青協会員の新規増員をきっかけに、団体の体制を改めて整えていく流れができました。今迄使用していた栗青協の他、KSKという団体名の略称を新たに作りました。 その中で発案されたのが、栗青協ユニフォーム制作でした。 自主事業で着て、参加者の興味を惹き新規会員獲得に繋げる 手伝い事業で着て、他団体との識別を図り、町民へ存在をアピールする 同じ物を身につけることで会員の一体感を高める といった目的を掲げて活動を開始しました。</p>			
周囲の反応や 作品の効果・成果	<p>団体活動を外部の人に説明したり興味を持つてもらうのは容易ではありません。 しかし視覚に訴える物があれば、自然と興味を持ってもらえ、話しのきっかけにもなり得ます。 青年活動や町への貢献活動は、格好が良くなくて今の時代にそぐわない… そんなイメージを持たれないためにもデザイン性や洗練された魅せ方は必要だと思っています。 2020年度は、自主事業や道青協の事業でもバーカーの着用や名刺配布が出来、印象に残る活動になりました。 活動内容も団体を現すデザインも、時代の流れに合わせてブラッシュアップしていく事を意識していきたいと思います。</p>			
アピールポイント (見てほしい点・自慢したい点 など)	<p>身につける物はそのまま、団体への印象に繋がります。 若者らしく軽やかで、誰が手にしても普段から身につけても恥ずかしくない、さり気なく綺麗なデザインを。 と、その重要性が極となり、長い間頭を悩ませる事となってしまいました。 その間にも少しづつ世代交代が進み、後輩たちに後押しされる形でなんとか案が煮詰まっていきました。 当初は、しっかりした生地できちんと感も出るボロシャツがいいのではという案でしたが、 それから少し経ち、羽織れるワイドフレーカーの方が使い勝手が良いと案が変わり 最終的には外事業の少なさから屋内着用を主としつつ軽く羽織る事も出来て、素材の馴染みが良いバーカーの制作へと至りました。 会員のアドバイスを受け、Facebookページのアイコンキャラクターを使用したり、好みの色が分かれる服の色は選択肢を増やす などし、キャラクターの可愛らしさを活かしたバーガンティ・オートミール・白・杢グレー、少レクールめに配置した黒・ ティーフネイビーの計6色展開で制作しました。 名刺制作では、団体名は全て漢字表記の堅苦しい印象になりがちなのを、オリジナルのフォントを作り親しみ易さを出しました。 略称KSKのフォントもオリジナルで、団体名とは対照的に安定と存在感のある形にし、一字文字目のKには栗の輪郭を型取りました。 活動内容とレイアウトはとにかくシンプルに、目が疲れず伝わり易いデザインを心掛けました。 色合いは、さわやかな若々しさを現すグリーン・元気な様を現すオレンジの2色展開としました。</p>			

2020年度全国地域実践「実践大賞」 アピールレポート（共通・設問有り）

応募団体名	(ふりがな) くりやまちょうせいねんだんたいきょううきかい 栗山町青年団体協議会	応募部門	<input type="checkbox"/> 地域活動の部 <input checked="" type="checkbox"/> 教宣活動の部
活動名称	(ふりがな) けーえすけーぱーかーあんどめいしせいさく KSKバーカー＆名刺制作		
活動実施日	2015年 9月 5日 ~ 2020年 4月 23日		
活動場所	総合福祉センターしゃるる(打合せ場所)、LINE(オンライン打合せ)		
関係者数	24人(作品完成時の会員数)	参加者数	7人(ユニフォーム制作グループ)
活動概要	<p>(200字程度)</p> <p>KSKもしくは栗青協こと、栗山町青年団体協議会のトレードマークとなる物を制作。</p> <p>外部から一目見てKSKだと判る様、会員はKSKの一員だとアピールしやすい様</p> <p>そして同じ物を身に着けることで、所属している実感と会員の一体感を目指して。</p> <p>視覚に訴える物を作れば、活動を続けて行く上で心強いアイテムとなるはず。</p> <p>長い時間を掛けて、オリジナルのバーカーと名刺を制作しました。</p>		

※準備から活動終了までの打ち合わせやリハーサルなど活動を行った年月を時系列で記入してください。

年	月	活動内容（各別にまとめて記入）
2015	9	栗青協オリジナルユニフォーム制作グループを立ち上げる 定例会にて発足後、LINEで打合せを行う
	11	総合福祉センターしゅるるにて集まり、打合せ 当初案Tシャツから→ポロシャツ案へ変更
2017	4	ポロシャツ案から→ウインドブレーカー案へ変更
2018	10	第1号デザイン案完成・定例会にて会員共有
2019	12	第2号デザイン案完成・定例会にて会員共有 ウインドブレーカー案から→バーカー案へ変更 名刺デザインも追加
2020	2	バーカー・名刺 最終デザイン案をLINEにて会員共有 発注取りまとめ
	4	発注先と数回に及ぶ打合せ・デザイン整え 完成・会員への配布
	7	道青協事業でのバーカー着用
	8	自主事業でのバーカー着用
		道青協事業でのバーカー着用
	10	協力事業でのバーカー着用
	11	自主事業でのバーカー着用

<アピールポイント>

- ①活動の詳細を以下に自由に記載してください。文字だけでなく、写真など取り組みの様子や活動の風景なども入れても問題ありません。
- ②文字の大きさやレイアウトに指定はありません。
- ③「いつ、誰が、どこで、どのように、何をした、その理由は?」の5W1Hがわかるように、できるだけ具体的に書くことを心がけてください。

■活動のきっかけ、準備期間に関すること等

平成27(2015)年度、栗青協会員の新規増員をきっかけに、団体の体制を改めて整えていく流れができました。

その中で発案されたのが、栗青協ユニフォーム制作でした。

自主事業で着て、参加者の興味を惹き新規会員獲得に繋げる

手伝い事業で着て、他団体との識別を図り 町民へ存在をアピールする

同じ物を身につけることで会員の一体感を高める

といった目的を掲げて活動を開始しました。

■活動中の苦労、印象深かったこと等

発案した平成27(2015)年度内には、制作を終わらせる予定でした。しかし、制作へ掛ける想いに作業や技量が追いつかない面がありました。身につける物はそのまま、団体への印象に繋がります。会員にも外部者にも、特に若者に好ましく思ってもらえる様でなければなりません。

従来感のある格好のつかないデザインでは、目も向けてもらえませんし会員も着用しないでしょう。

若者らしく軽やかで、誰が手にしても普段から身につけても恥ずかしくない、さり気なく綺麗なデザインを。

と、その重要性が伽となり、長い間頭を悩ませる事となってしまいました。

その間にも少しづつ世代交代が進み、後輩たちに後押しされる形でなんとか案が煮詰まっていきました。

当初は、しっかりした生地できちんと感も出るボロシャツがいいのではという案でしたが、

それから少し経ち、羽織れるウインドブレーカーの方が使い勝手が良いと案が変わり

最終的には、外事業の少なさから屋内着用を主としつつ軽く羽織る事も出来て、素材の馴染みが良いパーカーの制作へと至りました。

デザインには、FaceBookページのアイコン画像をそのままキャラクターとして使えば良いのでは

服の色は好みが分かれるのでなるべく選べる方が良いのではなどの会員のアドバイスを反映し

キャラクターの可愛らしさを活かしたバーガンティ、オートミール、白、エグレー、少しクールめに配置した黒、ディープネイビーの計6色展開で制作しました。



■活動の成果、今後の展望に関すること等

団体活動を外部の人に説明したり興味を持ってもらうのは容易ではありません。

しかし視覚に訴える物があれば、自然と興味を持ってもらえ、話しのきっかけにもなり得ます。

青年活動や町への貢献活動は、格好が良くなくて今の時代にそぐわない…

そんなイメージを持たれないためにもデザイン性や洗練された魅せ方は必要だと思っています。

2020年度は、自主事業や道青協の事業でもパーカーの着用や名刺配布が出来、印象に残る活動になりました。

活動内容も団体を現すデザインも、時代の流れに合わせてブラッシュアップしていく事を意識していきたいと思います。

■自由記述欄（各欄で記載できなかったこと等）

パーカー制作が主でしたが、名刺の制作にも同様に力を入れました。

団体名は全て漢字表記の為堅苦しい印象になりがちなのを、オリジナルのフォントを作成し親しみ易さを出しました。

略称KSKのフォントもオリジナルで、団体名とは対照的に安定と存在感のある形にし、一文字目のKには栗の輪郭を型取りました。

活動内容とレイアウトはとにかくシンプルに、目が疲れず伝わり易いデザインを心がけました。

色合いは、さわやかな若々しさを現すグリーン・元気な様を現すオレンジの2色展開としました。